

# 新年 あけまして おめでとうございます

今年も音声重視の教育文化発展に  
いっそう邁進していきます



2009 New Year's Day 代表 田淵龍二



第7号

2009年1月16日(金)

発行所

ミニント音声教育研究所

〒370-0013 群馬県  
高崎市萩原町 950-31  
Tel/Fax 027-353-1091

## 紙面案内

特集	連載	記事
のすすめ	動の3成分【単語・表現・気持ち】 通年テーマと言う新しい発想	新年のご挨拶 ミニント音声教育研究所に改称 電子教材の諸要件/表現活 二面
	二面	一面

ユーザーサポート  
027-353-1091

## ミニント音声教育研究所に 改称しました

新年明けましておめでと  
うございます。本年もよろ  
しくお願い申しあげます。

昨年は、ミニント学習教室が  
開発した新しい電子授業を  
導入される教育機関が、小学  
校から、大学そして社会人教  
育や研究へと広がりを見せ  
ました。

諸先生方のご期待にこた  
えるため、ミニント学習教室を

発展解消し、ミニント音声教  
育研究所を立ち上げまし  
た。

今年は奇しくも多くの  
小学校で英語必修化元年  
となります。全国の教室に  
元気な声をお届けできる  
よう、教材と教授法の開発  
にさらに励んで参ります。

2009年 元旦

代表 田淵龍二

## お知らせ

### 次期エムボックス キッズ9に素材集搭載



ミニントアプリケ  
ーションズは、ム  
ービーボックスの  
後継機種「エムボ  
ックスキッズ9」  
をまもなく公開す  
る。この次期エム  
ボックスには小学  
校英語向けの絵  
語カード約千枚と  
文例約八百本を収  
録した素材集を搭  
載し、電子黒板に  
対応したボスター  
機能やゲーム感覚  
の演習として神経  
衰弱やパズルなど  
を追加する。

# 表現活動の3成分 【単語・表現・気持ち】

電子教材の諸要件 その4



連載

必修化を控えた小学校の英語授業では、伝統的な訳読は行わず、活動(アクティビティ)が中心となるそれは、英語の授業を

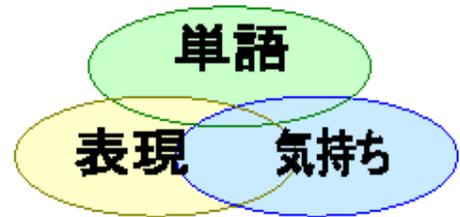
「英語活動」というところにも現れている。今回はこの「アクティビティ(表現活動)」の3成分「単語・表現・気持ち」を電子授業の

観点から見ていく。

表現活動のキーワードは「その気にさせる」こと。発信型の授業展開に、生徒の「やる気」は欠かせない。

## ① 気持ち

「自己紹介」というテーマを例にとってみる。例えば、実際に担任とPTAがスキットで



【その気にさせる三つの要件】

ナースリータイムとも呼ばれる音の文化の傑作集です。

このマザーグースを毎年テーマとして毎回の授業で唱和してみたいかがでしよう。

## 通年テーマという

## あたらしい発想のすすめ

### その1 マザーグース

お薦めするわけは幾つもあります。何より、マザーグースは音声重視の小学校英語にピッタリ。リズムカルな唱和で英語のイントネーションが

軽に取り込めます。授業の気分転換にも使えます。また、ひと口にマザーグースと言っても主なもので300を越えますが、エムボ

ックスには48曲を収録しています。1ヶ月に1曲ずつ暗唱しても、年間で十曲は覚えられます。

「やった」という達成感が味わえます。うれしいことにエムボックスを使えば、経験のない先生方でも手軽に導入できます。子どもたちと一緒に大きな声で唱和して、先生自身のスキルアップにもつながります。

最後に、国際理解のベースには文化の理解があります。異文化に触れながら英語に親しむ、マザーグースを通年テーマに取り入れてみましょう。

自己紹介をやってみせると、または、電子映像で、自己紹介の場面を仮想現実として提供する。好きな食べ物など、のり易いテーマを設定し、例えば食べ物の絵カードを見せる。電子教材であれば、一度にたくさん提示することが可能だ。スクリーン一杯に食事メニューをどつと出すと、「おおっ」と歓声が上がります。クラス全体が一気にその気になる。

## ② 単語



ラーメンが好きと表現したい生徒に、「ramen noodle」という単語を教えてあげると、担任やPTAが発音したり、スクリーンの絵カードをクリックして音を出す。電子教材を使うと子どもたちが好きそうなメニューをあらかじめスクリーンに出しておける。

## ③ 表現

ramen noodle と単語だけばつんと言つただけは寂しいので、My favorite food is... のような言い方(表現)を担任やPTAが示したり、電子教材の映像で見聞きさせる。また、

対話するには「What's your favorite food?」のような尋ね方も取り入れることになる。

ここでいよいよ表現活動を行なうのだが、問題はここから。

自己紹介では、名前、年齢、誕生日、学年、通っている学校、好きな食べ物、ペット、趣味などさまざま。単語だけでも百を超える。さらに質問表現は話題ごとに「What's your name?」「How old are you?」などと変化多。

こうした多様性がないと、楽しいはずのアクティビティが、みんな同じ表現になり単調でつまらなくなる。楽しむためにはバリエーションと言う表現の幅と豊かさが不可欠。では、表現の多様性を手に入れるにはどうすればいいか?

## 楽しさを支える多様性と電子教材

それこそ電子教材の出番だ。多くの情報を効果的に、しかもさまざまに提示することが可能だからだ。楽しいアクティビティを支える道具、それが電子教材の要件である。

外国人が日本の童謡を知っている口ずさむと、それだけで気持ちを通じ合い、話が弾むという経験はないですか? 童謡はその国の文化の背景として底流を流れています。欧米の童謡の代表はマザーグース。

多くの小学校では「あいさつ」「自己紹介」「買物」「食事」「道案内」などのテーマごとに、レッスンを区切って数週間ごとの授業を行なっています。

今回ご紹介するのは「通年テーマ」という、新しい発想による授業です。